

「バリア」の逆は「ありば」。  
 バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。  
 みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。  
 人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

# ありば

VOL. 22  
 2011



表紙／曾山正樹さんの作品「静物」

南九州市、社会福祉法人 休道福祉会「知覧ふれあいの里」に通所して、木工の絵付けを担当していた十数年前、絵画と幸福な出会いをした曾山正樹さん。不自由な腕ながら、正確なデッサン力を身につけ、静物や風景画を得意とする。昨年の夏は地元で油絵展を開催、好評を博した。



## CONTENTS

### 【特集】

人にやさしい快適空間を求めて  
 九州新幹線&鹿児島中央駅

PAGE 1

ありばヒューマンドキュメント  
 中原くるみさん

PAGE 3

ありば通心  
 『社会福祉法人 ゆうかり』  
 ゆうかり学園

PAGE 4

ハードルを越えて  
 曾山 正樹さん

PAGE 5

バリアフリー最前線  
 健昌保育園

一人で悩んでいませんか?  
 ～自殺予防について～

PAGE 6

### 鹿児島県からのお知らせ

鹿児島県難病相談・支援センターが  
 新設されました  
 身体障害者補助犬について

